

株式会社いかるが牛乳 情報セキュリティ基本方針

1. 基本理念

株式会社いかるが牛乳は、お客様の信頼と期待にお応えし、安全で高品質な乳製品を提供し続けるため、情報資産の保護を経営の重要課題と位置付けます。当社が保有するすべての情報資産を適切に保護し、情報セキュリティの確保に全社を挙げて取り組みます。

2. 適用範囲

本方針は、株式会社いかるが牛乳の全役員・従業員・契約社員・派遣社員・アルバイト等（以下「全従業員」という）に適用されます。また、業務委託先、取引先等の関係者についても、本方針の遵守を求めます。

3. 情報資産の定義

情報資産とは、以下のものを指します：

- 顧客情報（個人情報を含む）
- 経営情報、財務情報
- 製品情報、技術情報
- 人事情報
- その他業務上取り扱う一切の情報
- 上記情報を格納・処理・伝送する情報システム、ネットワーク機器等

4. 基本方針

4.1 法令等の遵守

情報セキュリティに関する法令、規制、契約上の義務、その他の要求事項を遵守します。

4.2 情報資産の保護

情報資産を機密性、完全性、可用性の観点から適切に保護し、不正アクセス、改ざん、破壊、漏洩等から守ります。

4.3 リスク管理

情報セキュリティに関するリスクを定期的に評価し、適切な対策を講じることで、事業継続を確保します。

4.4 組織的対策

情報セキュリティ管理体制を確立し、責任と権限を明確化します。また、全従業員に対する教育・啓発活動を継続的に実施します。

4.5 技術的対策

適切なセキュリティ技術を導入し、情報システムの安全性を確保します。また、技術の進歩に応じて対策を見直し、改善を図ります。

4.6 物理的対策

情報資産を格納する施設や機器への物理的なアクセス制御を実施し、適切な環境管理を行います。

4.7 インシデント対応

情報セキュリティインシデントの発生に備えた体制を整備し、迅速かつ適切な対応を行います。

4.8 事業継続管理

災害やシステム障害等の発生時においても、重要業務を継続できる体制を整備します。

5. 個人情報の保護

個人情報保護法をはじめとする関連法令を遵守し、お客様、取引先、従業員等の個人情報を適切に保護します。

6. 継続的改善

情報セキュリティマネジメントシステムを継続的に見直し、改善を図ることで、情報セキュリティレベルの向上に努めます。

7. 違反時の対応

本方針に違反した場合は、就業規則に基づき適切な措置を講じます。また、法令違反が認められる場合は、関係機関への報告等、必要な対応を行います。

8. 方針の見直し

本方針は、法令の改正、事業環境の変化、技術の進歩等に応じて適宜見直しを行います。